

## 令和5年度第1回印西市行政改革推進委員会 会議録

- 1 開催日時：令和5年10月30日（月）  
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所：印西市役所会議棟 204会議室
- 3 出席者：川邊委員（会長）、池田委員、小柳津委員、幸委員、関根委員、  
永田委員、眞仲委員
- 4 欠席者：木下委員
- 5 事務局：高平総務課長、酒井課長補佐、一畝田係長、石黒主査補、渡邊主査補
- 6 傍聴者：1名
- 7 議題  
(1) 会長の互選  
(2) 第6次印西市行政改革実施計画の令和4年度分の実績報告について
- 8 会議資料  
1. 会議次第  
2. 資料1 印西市行政改革推進委員会設置条例  
3. 資料2 第6次印西市行政改革実績報告書（令和4年度分）
- 9 議事

### 議題（1）会長の互選

事務局 会議の議長につきましては、資料1の印西市行政改革推進委員会設置条例第5条の規定により、会長が議長となりますが、会長が選任されるまでの間、仮議長を事務局で行わせていただきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

委員 異議なし

仮議長 次第3の（1）、会長の互選について、印西市行政改革推進委員会設置条例第4条の規定により、会長の選任は委員の互選により定めることとなっております。どなたか立候補や、推薦はございますか。

委員 事務局に一任します。

仮議長 委員の方から事務局に一任という提案がございましたが、いかがでしょうか。

委員 異議なし

仮議長 それでは事務局案でございますが、川邊委員を推薦させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員 異議なし

仮議長 それでは川邊委員、会長をお願いできますか。

委員 はい。かしこまりました。

仮議長 それでは川邊委員に会長をお願いいたします。

### 3 (2) 第6次印西市行政改革実施計画の令和4年度分の実績報告について

会長 次第3の(2)、第6次印西市行政改革実施計画の令和4年度分の実績報告について事務局からの説明をお願いします。

事務局 「行政改革の推進体制」について、確認も含めご説明いたします。令和2年度において、令和3年度から令和7年度を計画期間とした、第6次印西市行政改革大綱及び実施計画を策定しました。策定にあたりましては、当委員会においてご意見をいただきながら進めてきたところです。本実施計画は、市長を本部長とする、市役所内部の組織である行政改革推進本部において、進捗状況について報告し、ご意見やご助言をいただきながら、行政改革の推進を図っているところでございます。

それでは、第6次印西市行政改革実施計画の進捗状況について、ご報告いたします。第6次大綱で示す、基本目標の具体的な取り組みについて基本施策ごとに実施項目を設定しているものです。実施項目は25項目ございますが、No.16、22、23の3項目については、複数の課に関連するため、評価については28項目となります。

令和4年度の実績報告ですが、A評価13項目、B評価13項目、C評価2項目でした。A B Cの評価でございますが、「目標値に対し100%以上または計画どおり」であったものについてはA、「目標値に対し80%以上100%未満または概ね計画どおり」であったものについてはB、「目標値に対し80%未満または計画を下回る」ものについてはCと評価しております。

最初に、実施計画の赤字修正箇所について説明させていただきます。

No.1「市税の徴収対策の強化」について、令和5年度、6年度の年度別行動計画目標値等を追加しました。

No.13「未利用財産の有効活用」について、令和3年度取り組み内容について、昨年度の委員会で指摘がありましたので補足を追加いたしました。

No.14「指定管理者制度の活用」について、令和6年度の年度別行動計画目

標値等について、当初計画では（仮称）千葉ニュータウン中央駅複合施設整備事業の進捗に合わせて「中央駅前地域交流館」での指定管理者導入時期を令和6年度と見込んでおりましたが、令和7年4月に施設供用開始として事業を進めておりますので、令和6年度1施設は令和7年度に延期する予定です。よって、令和7年度が1施設から2施設に変更したものでございます。

No.20「職場内外における知識やスキル向上機会の充実」について、令和3年度取組内容ですが、受講率について53.2%としていましたが、計算方法に誤りがあったため修正いたしました。また、令和5年度から令和7年度までの年度別行動計画目標値等について、各年度の研修受講率目標を50%から100%に引き上げたものでございます。以上4項目について修正しました。

次に、C評価となりました、2つの実施項目についてご説明いたします。

No.13「未利用財産の有効活用」について、目標値である売却面積500㎡に対し、売却実績が194.62㎡であったため、C評価としております。

No.22-1「既存事務の電算化の推進」について、目標値である文章の電子供覧・起案の比率50%に対して、実績が12.6%であったことから、C評価としております。

説明は以上でございます。皆様からは、実績報告に対するご意見をお伺いしたいと考えます。いただいたご意見は関係各課に周知し、今後の取組で活かしていきたいと考えます。

会長 委員の皆様からご意見等ございましたら、お願いします。

委員 計画全体について、①各評価は担当課による自己評価でしょうか。目標値のあるものは客観的にわかりませんが、性質上目標値を設定しづらいものについて自己評価するのはいかがなものかと思えます。②実績報告書のフォーマットは一般的にこのようなやり方をとっているのでしょうか。③5年計画ですが、社会情勢・外部環境の変化が大きくスピードがあるもの、特にDX関係はあっという間に陳腐化してしまいます。計画目標の見直しは、毎年行っているのでしょうか。

事務局 ①各担当課の自己評価になります。目標値のないものについては、担当課にヒアリングして修正することはございます。②報告書のフォーマットについては、過去の実施計画から基本はこのような形で継続して進捗管理を行ってきたところでございます。③DX関係は日々進歩している分野になります。DX推進課と「DX推進方針」を立ち上げまして、本計画とは別にDXを進めているところですが、行革の実施計画に反映していない部分もありますので、修正等促してまいりたいと思えます。

委員 目標値のないものについて、委員としては評価が適正かどのように判断すればよろしいでしょうか。

事務局 目標値のないものについては、担当課の主観的なところがあり、わかりにくさがあること理解しております。例えば、No.2「受益者負担の適正化」については、令和4年度の目標として「使用料、手数料設定等に関する事務指針の調査研究」としてしております。取組内容として、手数料の条例を改正しまして、コンビニ交付手数料を50円にして、マイナンバーカードの推進と市民の利便性の向上を図ったという面から、調査研究以上の取組をしたとしてA評価としました。評価方法につきましては、今後の計画等に反映していきたいと思っております。現在、計画期間の途中であるため、見直しや目標値を変えることは難しい部分がございますが、改められるところは、皆様が評価しやすいように変えていきたいと思っております。

委員 目標自体をアップデートすることで、市民にもわかりやすいようになれば、努力していることが評価できるので、変えられる機会があればその方がよろしいと思っております。

委員 No.2について、コンビニ交付手数料50円は近隣市に比べると破格になったと思っております。コンビニ交付の利用状況はいかがででしょうか。

事務局 令和5年度9月末現在で、市全体の諸証明交付におけるコンビニ交付の取得率につきましては、住民票が40.5%、印鑑証明は57%、税証明書は23.4%。令和4年度の税証明は10.6%でしたので、全体として増えており、市民の方がサービスを活用していることが窺えます。

委員 近隣市でもコンビニ交付を行っていますが、印西市の50円は安いです。市の負担が増えるとの見方もできると思っておりますが、費用対効果としてはどのように考えているのでしょうか。

事務局 新型コロナウイルス等の感染症防止や、国のマイナンバーカードを普及したいという政策も背景にはございますが、お客様が来庁しなくてもサービスを受けられるのであれば、職員が他の業務をできるようになり、中長期的には、出張所等の窓口の見直しも考えられるようになると思っております。そのため、手数料を下げても費用対効果があると考えております。

委員 広報いんざい等で、コンビニ交付50円については周知されていますが、もう少し周知を増やしていいと思っております。

- 事務局 適切な周知について検討いたします。
- 委員 計画全体について、①計画を推進する担当課の記載がありますが、記載のない部署もあるのでしょうか。②地球の温暖化について取組む部署はどこになるのでしょうか。③目標値のない定性評価については、何ををもってA評価としたかの書式があってもよいと思います。
- 事務局 ①記載のない部署もごさいます。②環境保全課になります。③検討いたします。
- 委員 意見になります。基本施策 1-1「さらなる自主財源の確保」について、タイトルと実施項目がずれているように思います。例えば、ネーミングライツ等の新たな収入増のための方法について検討すべきだと思います。
- 委員 意見になります。No.8 について、ペイジー口座振替で取り扱える金融機関について、ネット銀行を増やしていただきたいです。
- 委員 意見になります。次期計画については、さらに多くの部署を拾い上げていければと思います。
- 委員 No.7 について、特定健康診査受診率の分母はどこまでが対象でしょうか。
- 事務局 国民健康保険加入者が対象と思われませんが、確認して後日お示しいたします。
- 委員 No.6 について、基金について涵養に努めるという表現は適切ではないと思われまます。基金に対する市の考え方というのはあるのでしょうか。
- 事務局 財政計画に記載がされておりますが、他に明文化されているものがございましたら後ほどお示しいたします。
- 委員 ①No.9 について、収納率と徴収率について同一の意味でしょうか。②意見になります。No.8 について、健康診査の受診率を向上させるため、通知と一緒に割引となるクーポンを同封すると、使用する意識が働くという行動心理学があります。
- 事務局 ①収納率と徴収率は同じです。

委員 No.12 について、印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂はどうして滞っているのでしょうか。

事務局 担当部署に確認して、後ほど回答いたします。

委員 意見になります。No.14 について、指定管理者制度の導入推進だけが評価軸となっているのはもったいないと思います。指定管理者を導入したことにより、どのような効果が得られたかを記載するべきだと思います。

委員 No.13 について、①売却可能と判断される土地が増えた理由はありますでしょうか。②売却可能と判断される土地は今後増えていくのでしょうか。

事務局 担当部署に確認して、後ほど回答いたします。

委員 売却促進に向けた方策はあるのでしょうか。

事務局 特段ございません。

委員 意見になります。No.15 について、公共施設の包括委託は、近隣自治体ではなく、先進自治体にいくべきと思います。

委員 No.12 について、自治会の集会所は含まれているのでしょうか。

事務局 含まれています。

委員 意見になります。No.12 について、集会所が老朽化しているため、維持管理方法について見直しが必要と思います。

委員 No.17 について、行政診断について概要を教えてください。

事務局 全庁における業務の棚卸作業を行い、各業務について、専門性があり常勤職員でなければ行えない業務を「コア業務」、常勤職員でなくでも行える業務を「ノンコア業務」に分類しました。そのうえで、委託した業者に、市の現状分析と、今後に向けた提言を行っていただきました。

委員 この診断をもとに計画を見直していけばよいと思います。

会長 No.21 について、男性の育休が増えた理由はなんのでしょうか。

事務局 制度に対する職員への周知が図れてきたためです。

委員 No.20 について、職員研修の研修受講率の算出方法について、延べ参加者を、職員数で割るのは、正しい算出方法でないと思います。

事務局 人事課と検討いたします。

委員 No.19 について、人事評価は人材育成のための制度です。管理職は人材育成の視点から評価すべきと思います。印西市の人事評価はどのように行われているのでしょうか。

事務局 担当部署に確認して、後ほど回答いたします。

委員 所属職員への評価は誰が行われているのでしょうか。

事務局 所属の課長が一次評価を行い、所属の部長が二次評価を行っています。

委員 評価の高い職員は、期末手当や勤勉手当に跳ね返ってくるのでしょうか。

事務局 担当部署に確認して、後ほど回答いたします。

委員 評価については、自己評価も行っているのでしょうか。

事務局 行っています。

委員 人事評価については、職員自身を知ることはできるのでしょうか。

事務局 担当部署に確認して、後ほど回答いたします。

委員 人事評価は、会計年度任用職員は含まれているのでしょうか。

事務局 含まれています。

委員 意見になります。No.18 について、高齢者の母親が、他市から印西市に転入した際に、転出に関する手続きはその場に座ってできましたが、印西市での転入手続きは、色んな部署に行って大変だったと言っておりました。ぜひワンストップサービスを進めてほしいと思います。

- 委員 意見になります。基本施策4-1「BPRの手法やICTを活用した行政サービス」が肝と思います。利用率をあげるために、数値目標をたてることで、DXの効果効能がわかると思います。
- 事務局 市の主たるDX推進に関しては、別方針となる「印西市DX推進方針」を定めて推進しております。
- 委員 意見になります。No.23-1について、キャッシュレス決済の実績数値だけ出しても意味がないと思います。
- 委員 No.22-1について、RPAを利用している職員の評価はいかがでしょうか。
- 事務局 令和3年度にRPAの試行導入を行い、約3割の業務時間の削減効果がありました。現在7業務稼働しており、職員からは業務の効率化に繋がっていると伺っております。
- 委員 RPAのプログラムの構築は職員が行っているのでしょうか。
- 事務局 業者に委託しております。
- 委員 プログラムの構築について若手職員に勉強させるのもよいと思います。
- 委員 市の業務のセキュリティの確保についてはどのようなになっているのでしょうか。
- 事務局 市の「セキュリティポリシー」に基づき、徹底しており、特に個人情報を扱う環境については、厳密に管理しております。
- 委員 市の行政改革推進本部会議、総合計画、行政評価など、それぞれの役割等はどのようにとらえればよいでしょうか。
- 事務局 「印西市総合計画」は、本計画である「印西市行政改革実施計画」とは別の計画となり、市の最上位計画となります。行政評価として、総合計画における「施策」及び「実施計画」について企画政策課にて進行管理を行っています。「行政改革推進本部会議」は市長を本部長とした市役所内部の組織として進捗状況を報告し、ご意見やご助言をいただいております。なお、当委員会でもいただいたご意見は、「行政改革推進本部会議」で報告させていただきます。



会長 他にご意見・ご質問がないようでしたら、議題の方は終了いたします。事務局には、本日の会議でのご意見等を、今後の事務運用に活用していただきたいと思えます。

### その他

会長 次第に従いまして、4 その他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

委員 市民公募の応募申込書の最終学歴欄は、次回削除してほしいです。

事務局 かしこまりました。本委員会の公募の際は削除いたします。

会長 事務局から何かございますでしょうか。

事務局 今回の会議で伝えきれなかった内容につきましては、改めて皆様にお伝えしていきたいと考えております。また、いただいたご意見につきましても、関係各課に情報共有をしながら、次年度以降の行革の取り組みに対して、意見として参考とさせていただきたいと考えております。

会長 それでは他にないようですので、以上をもちまして、会議終了いたします。

令和5年10月30日に行われた印西市行政改革推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 池田 明